

市長が行く

No.111

人事案件の否決

茂原市長

田中豊彦



この6月議会は、教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の交代期にあたり、行政側としては一期と二期の実績を踏まえ再任という方向で議案として提示しました。しかし驚いたことに、最終日の議会でこの人事案件が否決され、今後の教育委員会と固定資産評価審査委員会に支障をきたす事態となっております。そもそもこの人事案件は、それぞれの分野から検討を重ね、卓越した人物を厳選し、お願いしてきたものであり、まして任期中において何の瑕疵もなく、立派に任務を遂行された方たちを否決する理由が全く見当たりません。

今回の場合は、再任案件ですし、よほどのことがない限り否決するなどということはない、前代未聞の出来事です。今ままで茂原市のために一生懸命に努めていただき、さらに今後、も建設的な意見を出しながら前向きに仕事をしていただけ

る方たちだっただけに、残念で仕方ありませんし、申し訳ない思いでいっばいです。否決理由を聞いても議会側からはいまだに納得できる回答は得られていません。そのため次の人選に大変苦慮しております。どういう人を選べば否決されないのが、全く分かりませんから。

さて、ここからは私見になりますが、きちんとした回答が得られないのは、きちんとした理由がないからではないか。つまり単に否決のためか。否決。私に対する「いやがらせ」かな？市議会の中には、私の市政の方向性に不満を抱く方々がたくさんいます。それは議会としてもちろん当然のこと、何でもイエスでは議会のチェック機能としての使命は成立しません。けれども、広い視野や正しいバランス感覚にのっとった、あるいは本当に市民の考えたことを反対ならこちらでも大いにウエ

ルカムですが、そうではない、私怨に近いような反対には憤りを通り越して情けなく思います。

最近茂原市のみならず、政治家に自らを卑しめるような行為が目立つように感じるのは私だけではないと思います。「ノブレスオブリージュ」という言葉がありますが、ある権力や地位を持った人には、それなりの高潔な精神と生きる姿勢が必要なのではないでしょうか。本来ならば、議会内部においてもっと議論されるべき問題で、行政側の私が言うことではないのかもしれませんが。

今、茂原市議会はインターネットでも発信されています。市民の皆さんもせっかく傍聴する機会があるので、ご自分の目で見てしっかりと判断していただければと思います。